

No. 6-9

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 06 - 9

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		26年 6月 13日		
事務事業名		BDF製造事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち						課名	環境資源課		係名	
		4-1 環境と共生するまちをつくる							シート作成者			
	施策	4-1-1 循環型社会の形成						予算費目	会計		一般	
									款		4	
主要施策	2 ごみ減量化の啓発と推進						項		2			
							目		1			
個別計画名												
住民との関わり		特になし										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				廃食油から燃料を製造し、塵芥収集車で軽油の代替燃料として使用することで循環型社会形成の一助とする。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）											
廃食油は、神田・稲部・三和地区では毎月第3土・日、笹尾・城山地区では毎月第4土・日にビン・缶の回収場所に廃食油の回収ボックスを設置して翌月・火曜日に回収し、町内保育園からは不定期に回収した後、東員町バイオディーゼル燃料製造施設に貯蔵し、その廃食油からバイオディーゼル燃料を精製し塵芥収集車に軽油の代替燃料として使用している。 H25年度廃食油回収量 9,304リットル BDF製造量7,827リットル												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし										
根拠法令・要綱等		東員町廃棄物の減量及び適正処理に関する条例										
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		1,489			1,574			1,622				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		1,357			1,442			1,490			
直接事業費（千円）A		1,357			1,442			1,490				
人件費（千円）B		132			132			132				
内訳	一般職員（人・千円）		0.02 人 132		0.02 人 132		0.02 人 132					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位		25年度		26年度		27年度	
							目標		実績		（目標）	
	① 廃食油回収量				ℓ		8250		9304		3800	
	②											
③												
説明		給食センターからの回収がなくなり、一般家庭と幼稚園、保育園からの回収のみになることから給食センターからの回収予定量を除いた量を目標とする。 311リットル×12月=3,732リットル⇒3,800リットル										

事業名	BDF製造事業	シート作成課	環境資源課
-----	---------	--------	-------

一次評価者	環境資源課	二次評価者	生活福祉部長
-------	-------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	できるだけごみを減らすために、今まで可燃ごみとして廃棄されていた廃食油を塵芥収集車の燃料として有効活用できることとCO2の排出量を減少させることで地球温暖化を少しでも食い止めることができます。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	CO2の排出量を減らすことができるので地球温暖化を少しでも食い止めることができます。また、ごみを有効利用することで住民への資源の有効利用をPRできます。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	回収量は目標値を上回っていますが、バイオディーゼル燃料の活用方法の検討が必要である。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ごみを有効利用することと環境にやさしいということをアピールすることに重点を置いているので、効率性は良いとはいえないです。

本事務事業の実施適切性の説明

現状はCO2排出量の削減及び可燃ごみの量を減らすことで環境にやさしい取り組みとして積極的にアピールしていき、回収量を増やしていき事業の拡大を図ります。

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	一次評価	4	4	3	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
今後の改革・改善目標	バイオディーゼル燃料の活用方法の検討が必要である。					

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	二次評価	4	4	3	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
コメント	廃食油をバイオディーゼル燃料化と効果を町民にPRすることにより環境意識の向上を図る。					

二次評価に対する課の考え方						
---------------	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から			
------------	------	----	------	--	--	--